

奈良県網の目行進3日目。

河戸憲次郎（奈良県平和委員会理事長兼奈良県原水協事務局長）、今井光子（前県会議員）、西岡知宏・中嶋潤二（奈良民医連）の4人。

東吉野村要請（13:35）

副村長、総務企画課長が応対。鍵谷典秀・副村長「東吉野村は堺市と友好都市。SDGSが言われる以前から、村では森の大切さを訴え、森を守る村政を続けてきている。核戦争などあってはならない。ロシアのウクライナ侵略もなんとかならないものか」。

ペナントと募金を頂き、記念撮影。

吉野町要請（15:00）

町長、議会事務局長、職員1人が応対。地元から、薮坂真佐さん（元議員）が参加。中井章太・町長「これからの時代は教育が大切。デジタルもうまく使って、いろいろな方法から、戦争や核問題を学び、戦争体験談の学習なども行い、自ら考えることが必要。本町は福岡県八女市と友好都市。『原爆の火』を保存している星野村のあるところ」。

薮坂真佐さん「コロナ前は町内で戦争展を開催し100人を超えて来場した。学校では人権学習の一環で、広島修学旅行と町民へのその再現発表などに取り組んできた。中学生が通る公民館などで、パネル展をもう一度復活したい」。

日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める議会決議については、議会事務局長が協力を約束しました。ペナントと募金（町と議会）を頂き、記念撮影。

大淀町要請（17:30）

町長、議長、教育長（岡向）、総務部長、総務課長が応対。地元から、小川・大淀町教組委員長、岡向・同書記長が参加。辻本眞宏・町長より、行進団を歓迎・激励し、ペナントと募金を用意していますとの、とても丁寧なご挨拶がありました。

岡向・議長「歴代5人の町長に原水爆禁止運動への協力要請を続け、平和行進をすべての部課長が出迎えるまでになった。長い運動の力で。意見書は全会一致にこだわり全議員の賛同を得てきた。昭和62年3月議会では、議員落選中だったが非核宣言が採択されたことは忘れられない」。

廣見敦志・教育長「私も元教師で広島修学旅行の引率などを行った。今年、久しぶりに広島の資料館を見学。展示内容が大きく変わっていた。平和の取り組みを現場で続けてほしい」。

小川委員長と岡向書記長が意見を述べられ、町長・議長宛の平和行進大淀町実行委員会の要請書（憲法と地方自治の原則にたち、住民の平和で幸せな生活を守るため、戦争協力を行わないこと。など4項目の要請）を読み上げ、町長と議長に手交しました。

大淀町は吉野郡で唯一、日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める議会決議をあげている自治体であり、協力に感謝申し上げ要請を終了。

ペナントと募金（町と議会）を頂き、記念撮影。

これで網の目行進3日目が終了。3日間の総走行距離は575キロメートル。

明日は、安堵町からのコースです。（通信・河戸）

